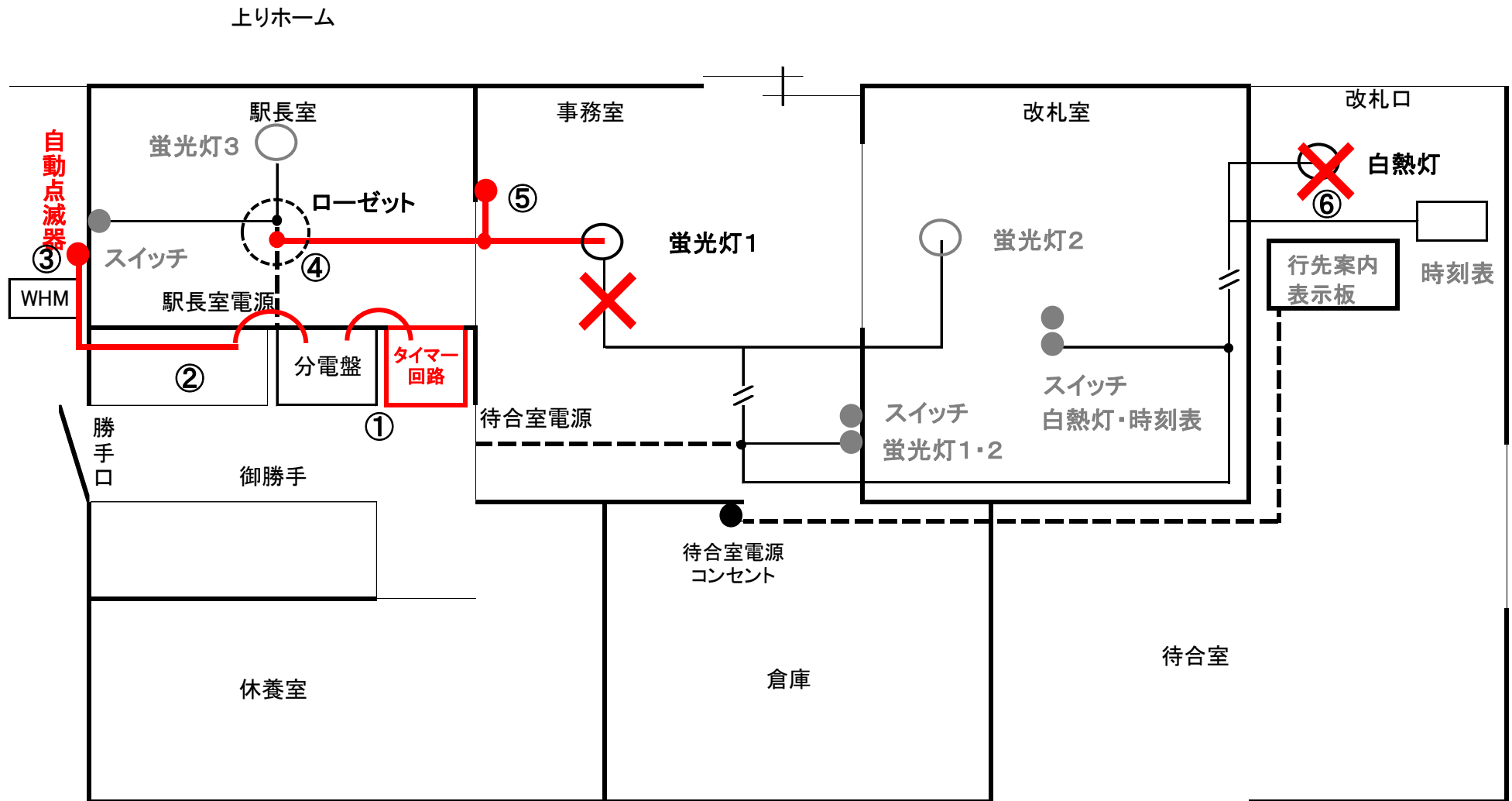


長瀬駅 タイマー化・他 電灯補修 図面



・ 長瀬駅タイマー化 作業内容

1 4回路(外灯・下りホーム・上りホーム・待合室)のタイマー制御化を行った。

タイマースイッチ(TM・1)にて任意の時間にON・OFFを行い、同回路に挿入した自動点滅器により明暗でのON・OFFを行う。

同TM回路により制御されたマグネットスイッチ(MG1・MG2)にて4回路のON・OFFを行う。

マグネットスイッチ、MG1により、(外灯・下りホーム)のON・OFFを行う。

マグネットスイッチ、MG2により、(待合室・上りホーム)のON・OFFを行う。

同TM回路に取付けた、タンブラスイッチにより時間・明暗に関係なく、任意に点灯させることが出来る。

※ 強制スイッチ・1をONにすると、TM・1で制御している回路(外灯・下りホーム・上りホーム・待合室)はすべて点灯する。

待合室のみ別回路にしたい場合は、(TM・2、MG・3)を増設するしかないですが、施設区との確認により上記の回路となった。

また、MGスイッチの取扱いも、1回路に1つのMGスイッチがBESTですが今回は、1MGスイッチに2回路の挿入を行った。

MGスイッチのメイン接点とサブ的接点も使用しているので容量的に心配が残ります。

※ また、移設後の負荷容量のチェックは、打合せの際やらなくても大丈夫ということなので、チェックを行っていません。

・ 上記の工事により分電盤内の回路構成を変更した。

タイマー制御する回路をすべて、右側(白黒)回路に移設する。(同回路を同一相にしないと動作異常が起こる、三峰口回路と同じ考え)

タイマー制御する回路をすべて、後に解りやすいように、タイマー回路を順番通りに移設する。(5:外灯、8:上りホーム・待合室、10:下りホーム、14:操作電源)

※ その他

タイマーリレーの時刻調整は次の通り行った。 5:00~8:00 15:45~24:30

待合室(事務室電灯)回路は、自動点滅器を抜いた回路で構成した方が良いのではないのでしょうか？

8:00~15:45の間は事務室の電灯もOFFになってしまうので、タイマーの時刻調整は、5:00~24:30のほうが良いのではないのでしょうか？

新しく取り付け、行先案内表示？の電源が待合室回路コンセントより供給してあるようで、明るくなって待合室がOFFになるとこれもOFFになる。

・ 長瀬駅タイマー化 作業内容

2 図面上④～⑤ 制御盤上蛍光灯・1の電源・スイッチ移設を行った。

電源移設 : 待合室回路→駅長室 (旧電源部は蛍光灯・1手前でぶった切り絶縁処理を行う)

図面上 ④ 駅長室蛍光灯・3の天井にあるローゼットより電源供給 ⑤ 蛍光灯・1のスイッチを事務室側柱へ増設

3 図面上⑥ 白熱灯の撤去を行った。

・ 長瀬駅タイマー化 現場写真 (作業前)



TM
MG MG
強制
S1

分電盤



①



①~②



②



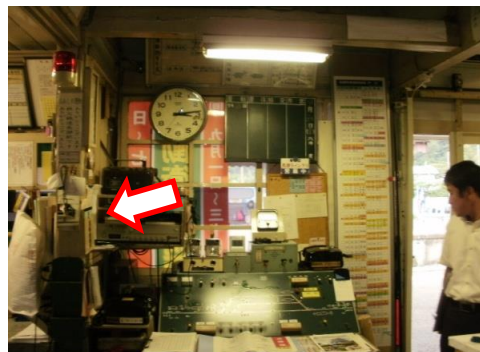
②裏



③



④



⑤



⑥

・ 長瀬駅タイマー化 現場写真 (作業後)



TM
MG MG
強制
S1

分電盤



天井裏を通す

②



天井裏からの壁の隙間を通す

② 裏



自動点滅器

③



④



⑤



液晶画面

⑥